



DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

予選レポート

2026/10/11 Rd-10 Fuji Speedway

天候：晴れ 気温：22℃ 出走台数：24 台

昨日に続いて快晴の富士スピードウェイは、秋の3連休とあって多くの観客が来場。

グランドスタンドは 2026 シーズン最後の富士決戦を見守るファンで埋め尽くされていた。

第1予選A組の牧野選手は、ユーズドタイヤでコンディションチェックの後、ニュータイヤへ交換。残り時間6分でコースインし、2周回のウォームアップの後アタック。第2セクターで伸び悩むも第3セクターで全体ベストタイムを記録し3位で第2予選へ。

B組太田選手は、昨日と同じ2アタック戦略。

2周回のウォームアップを行い2回のアタックラップを決めるも、1位にわずか0.09秒差の2位で第2予選へ進んだ。

続く第2予選、第1予選のライバルの動向と路面コンディションから、ウォームアップを3周回した後、アタックラップを1回行う戦略に変更。

まずはユーズドタイヤでチェックランを行うと、牧野選手、太田選手の順でピットへ戻る。

先にタイヤ交換を済ませた牧野選手はピットボックス前で待機、続く太田選手のタイヤ交換の際、メカニックが牧野選手に太田選手のタイヤをつけてしまったことに気が付くが、タイミング悪く牧野選手はそのままコースへ。太田選手は左フロントに中古タイヤを付け大幅に遅れてピットを後にした。

牧野選手は11番手タイムを記録したがタイヤ規程違反によりタイム抹消。12番グリッドからのスタートとなる。

太田選手は予定戦略通りのアタックは出来なかったが2列目グリッド4位で予選を終えた。

5：牧野任祐 選手 予選12位

(第1予選A組3位、第2予選11位 *タイヤ規程違反によりQ2タイム抹消)

昨日の第2予選の失速に対してセットアップを変更して臨みました。第1予選ではフィーリングもよかったのですが、第2予選では再びグリップを感じられない状況で全体的にタイムアップできませんでした。タイヤ規程違反の件は置いておいたとして、グリップダウンの原因がなにか、チームとともに解析して午後の決勝に臨みます。

6：太田格之進 選手 予選4位 (第1予選B組2位、第2予選4位)

予選セットアップの感触良かったのですが、タイヤの間違いで予定通りのウォームアップが出来ず、1本はユーズドタイヤだったこともあり、本来のペースは発揮できませんでした。それでも4位で終われたことは良かったです。

予選ではばたばたとしましたが、気持ちを切り替え、フラガ選手の前でフィニッシュすることに集中します。